

4月28日（水） 雲を見て…大騒ぎ！！

給食の準備の時間中、いつものように子どもたちと食べようと様子を見に行ってみたら6年生の子が「校長先生！！カメラ、カメラ！！」（私「????」）「すごい！雲に虹が…！」「おお！確かに！カメラもってきます。」急いでカメラをもってきました。

撮れた写真が下の写真です。最初見たときは、もっと虹色でしたが…。

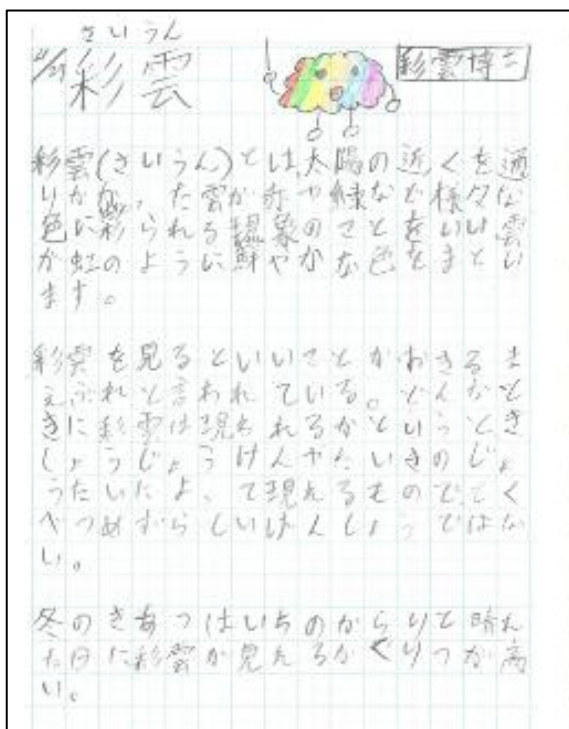


私は給食時間に、6年生の子に、「雲に虹がかかっている現象を調べてみてください。なんという雲なのか調べるといいよね。校長先生は何であるかは知っているけどね。(笑)」と話して「わかりました！」。と

いって、給食を食べ終わりました。

次の日です。6年生の子が二人やってきて、「校長先生調べました！」「おお！すごいプレゼンしてみよ。」とって次のページのような自学ノートを使ってプレゼンしてくれました。

6年生の子の自学ノート



別の6年生の子の自学ノート



それぞれがノートを使って説明をしてくれました。「彩雲」というようです。

この出来事とおして、「本当の学びは本来こうあるべきだ」と思いました。日常の中から、「なぜ？どうして？調べてみたい！」と思う出来事とおして学びを深めることができると思います。学校だけで教わる知識だけではなく、この探究心こそ知識を広げる第一歩だと思います。この6年生の二人に拍手を送りたいと思います。「**いいことがおきるまえぶれ**」「**見た人にこううんがおとずれる**」ことを信じて。

(文責 校長)